

時男という男性のことを聞きましたか？ 今 66 歳の彼は青春の時、統合失調症と診断されて、精神科病院に入院されました。福島のホテルにいましたので、東日本大震災の時、他の病院に移されました。新しい病院の医長にとって、40 人の患者の中に、2 人は入院が必要でした。39 年間精神科病院に住んでいた時男さんは初めて一人で住んでいる始まりました。

時男さんが入院されたのは、なぜだろうか？

日本の病院は精神疾患患者がいると、政府から補助金がもらいます。患者の意志は聞かなく、患者の家族は入院の希望があって、できます。

しかし、2002 年から 2006 年まで行われた研究によると、西洋の国と比べたら、日本は精神疾患の割合が低いでした。ただし、治療を受ける割合もその国と比べたら、予想より低いでした。一年間ずっと精神疾患がある人の中に、5 分の 1 だけが治療を受けませんでした。

それに対して、後に行われた研究によると、治療を受ける人数が増加しました。2008 年に精神疾患患者の数は 7 万人でしたが、10 年後は 10 万人になってきました。それはいいんでしょうか？ 問題はよくなりそうでしょうか？

それなら、このテーマについて話すの理由は何でしょうか？

なぜなら、現在の問題であるためです。

2 年前、ニュースで他の記事が出て来ました。大阪に住んでいる 33 歳の柿本愛理という女性が死亡しました。両親が逮捕されました。理由は、両親が愛理さんを 15 年間監禁しました。監禁した理由について、母親は「16 歳から 17 歳の頃から精神疾患があり、暴れるようになったので」と言いました。愛理さんは、部屋の中にヒータがなく、寒さで死亡しました。発見された時、体重が 19 キロでした。

つまり、過去の問題だけではありません。精神科病院と政府の補助金の問題だけではありません。精神疾患について、日本の一番大きい問題は人民の考え方のことです。多くの人は、精神疾患がある人と会いたくではありません。違いがある人は消えたほうがいいという考え方もあります。

問題を隠したら、解決ができません。病気がある人もやる気があります。病気がある人もやりがい仕事ができます。仕方があります。では、はじめに、自分の考え方を教えてください。